授業科目名	共生のための福祉	単位数	2
担当教員名	山口　道宏	担当形態	単独
実務内容 （実務家教員の場合）			

「学位授与の方針」との関係
多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。

授業の到達目標及びテーマ
（１）「無縁社会」とよばれる現代社会の諸断面と実相、背景と課題について説明できる。
（２）少子高齢時代と介護、「支え合う社会」とはなにか、について関心を高める。
（３）「自立」と「共生」と「福祉」の関係性について事例を通して説明できる。

授業の概要
現実に生起する身近な福祉に関する様々な事件や事故（「幼児虐待から無縁死まで」）を検証することにより、現代社会のもつ構造的な背景と問題点・課題を抽出し、共生社会への視座に立って、現代社会におけるあるべき福祉の有り様を考究する。

授業計画
第１回：無縁社会と共生社会　検証　「幼児虐待から無縁死まで」（その 1）
第２回：無縁社会と共生社会　検証　「幼児虐待から無縁死まで」（その 2）
第３回：差別、いじめ、虐待、貧困、社会的孤立
第４回：障害者、高齢者と権利擁護
第５回：少子高齢化と介護　①　契約と福祉と人権と
第６回：少子高齢化と介護　②「介護保険」と在宅主義
第７回：公的責任　規制緩和と生存権・生活権
第８回：「自己選択」「自己決定」
第９回：自立と援助と見守りと
第１０回：スローライフという生き方
第１１回：「孤食」と家族
第１２回：「福祉のまちづくり」とは
第１３回：社会資源
第１４回：「格差社会」「成果主義」「自助努力」
第１５回：無縁社会から共生社会へ
定期試験

スクーリングでの学修内容
第１回から第１５回すべてを行う。

教科書
　山口 道宏 編著（２０１２）『無縁介護』現代書館

参考文献
１　星槎大学共同研究プロジェクト 2019「孤立しない」「孤立させない」
　　※学生ポータルサイトよりダウンロード・閲覧可

2　『共生科学概説(1)』星槎大学出版局　2019年
3　山口 道宏（編著）『介護漂流』現代書館　2016年
4　山口 道宏（編著）『申請主義の壁！』現代書館　2010年
5　鎌田 慧（編）『人権読本』岩波ジュニア新書　2001年
6　本田 由紀『軋む社会』河出書房新社　2011年
7　阿部 彩『弱者の居場所がない社会』講談社現代新書　2011年
8　菊地・清水（編著）『基礎からはじめる社会福祉論』ミネルヴァ書房　2007年
9　山口　道宏『ドキュメント ひとりが要介護になるとき。』現代書館　2019年
その他適宜紹介する。また関係する資料を配布する。

学生に対する評価
スクーリング評価（２５％）、レポート評価（２５％）、科目修得試験（５０％）を総合して評価する。